

ポスト AP 宣言

2020 年春、私たちは、新しい旅路に出ます。

私たち高等教育機関の仲間の手で、大学教育再生加速プログラム（AP）の取組を続けます。

「アクティブ・ラーニング」

「学修成果の可視化」

「入試改革」

「高大接続」

「長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）」

「卒業時における質保証の取組の強化」

この数年間、私たちは、学生と一緒にあって、多くの取組と成果を作り上げてきました。そして、“チーム AP” という高等教育機関同士の連携も育んできました。

しかし、どの取組もリフトオフしたばかりで、確かな軌道に乗ったとは言えないのではないのでしょうか？

そう、ここで、「終わり」ではないのです。補助事業が終了するに過ぎないのです。

本当に、学生は成長しているのか、社会で活躍しているのか、そのことを、時間をかけて見つめていく必要があります。

私たちには、学生がたくましく育つことによって、社会から信頼される存在であり続けてほしいという夢があります。

さあ、“教育改革”という名の仕組みづくりに留まらず、みんな一緒に、“人づくり”に全力を注ぎませんか？

学生とともに歩んできた AP 事業での日々が大事な一歩であることは違いがありません。

ここで立ち止まらず、私たちの取組が、社会からの信頼と共感を得られるよう、学生と一緒にあって、世の中に問いかけていきたいと思います。

私たちは、決なる一歩として、社会に向け、新しい橋を架けます。

社会からの信頼を支えに、教員、職員、学生が一緒になって、自分の足で踏み出す！

それが、『ポスト AP 宣言』！！

(参考) ポスト AP 宣言文起草委員会メンバー

テーマⅠ：県立広島大学 AP 事業担当職員 伊藤 俊

テーマⅡ：阿南工業高等専門学校 創造技術工学科 教授 松本 高志

テーマⅢ（高大接続）：杏林大学 外国語学部 教授 坂本 ロビン

テーマⅠ・Ⅱ複合型：山口大学 大学教育機構 大学教育センター 准教授 林 透【世話役】

テーマⅠ・Ⅱ複合型：京都光華女子大学短期大学部 ライフデザイン学科 教授 鹿島 我

テーマⅣ：小樽商科大学 商学部 准教授 大津 晶

テーマⅤ：大阪市立大学 大学教育研究センター 教授 飯吉 弘子